

8/30~9/5 防災週間

問題

(9月の伝言ダイヤルの内容)

『エレベーターの中にいる時に地震が発生しました。
あなたならどうしますか??』

- ① 全ての階のボタンを押す
- ② そのまま乗っている



答え

①

日本では、地震の揺れを感知したら一番近い階（最寄り階）に停止する機能の導入が義務化されています。しかし、まだ全てのエレベーターに設置されているわけではありません。

どこかの階で停止させるため、全ての階数ボタンを「押す」ことが必要です。



また、ドアが開いても決して慌ててはいけません。出来るだけ落ち着いて行動しましょう。

災害伝言ダイヤルアンケート結果

昨年の災害伝言ダイヤル体験では、想定より操作ができない患者さんがたくさんいらっしゃいました。

今年は、2月より毎月1日に災害時の様々な状況や想定を考えた伝言を入れ、患者さんが定期的に災害伝言ダイヤルを体験できるようにしました。

今年の防災週間では、患者さんの2月~9月までの災害伝言ダイヤルの利用状況、操作状況を把握するためアンケートをとらせていただきました。

アンケートに答えて頂いた42名の患者の皆さまご協力ありがとうございました。



アンケート

- 2月~9月で何回災害伝言ダイヤルを体験しましたか?
1回9名 2回9名 3回7名 4回8名 5回3名
6回3名 7回0名 8回全て1名
- 災害伝言ダイヤルを完璧に操作できる 29名(69%)
できない 4名(9%)
もう少し 9名(21%)



患者さん全員が災害伝言ダイヤルの操作ができるように、今後も毎月1日に定期的に伝言を入れていきますので、是非体験にご参加ください。

操作が分からない場合、スタッフに声をかけて頂ければ、個別に指導させていただきます。スタッフからお声がけして操作状況を確認させていただくこともありますのでよろしくお願いします。

災害時には、西クリニックで透析が可能・不可能にかかわらず患者さんに連絡するように努めますが、電話の回線が混み合って繋がりにくく連絡がとれない場合があります。

そのため災害時には、災害伝言ダイヤルやホームページで西クリニックの状況を確認することをお願いしています。

災害伝言ダイヤルの利用は、非常時の連絡の手段としてとても有効です。西クリニックだけでなく家族との連絡の手段としてもとても有効です。日本透析医学会でも重要な連絡手段として発表されています。

是非、操作方法を覚えておきましょう。



火災訓練の実施

防災週間の9月4日にスタッフのみで火災訓練を実施しました。

祝日、夜間などあらゆる場面を想定して、限られたスタッフだけでスムーズに患者さんを安全な場所に避難誘導する訓練を実施しています。



患者さん用災害マニュアル配布



今回、患者さん用災害マニュアルを改定しましたので、防災週間に合わせて、患者さん全員にお配りしました。

この災害マニュアルは、災害時の備え、透析中に災害が起きた場合の行動、災害時の体調管理、薬の管理、食事管理、伝言ダイヤルなど1冊に分かりやすくまとめた内容となっています。

以前の災害マニュアルより文字が大きくなってとても読みやすくなりました。是非、ご活用ください。

台風や大雪による透析変更

今年も、非常に強い台風が関東に接近し大雨や暴風に厳重警戒するよう報道がなされていました。



台風や大雪は事前にある程度予測することができます。

もしご自分の透析日に当たりそうであれば、身の安全を最優先にさせていただきたいので、遠慮なく透析日の変更をスタッフまでご相談ください。



今年は、1月に能登半島で大規模な地震が発生し、8月には宮崎県の地震に伴い、国から「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました。

地震や台風そして日常的に耳にするようになった線状降水帯など自然災害は、いつどこで起こるかわかりません。

大地震が起これば、停電や断水などライフラインの寸断や、交通機関に影響が出るでしょう。

透析治療を受ける施設に被害がでることも予想されます。

そのため、日頃から準備や対策などの備えを行うことは非常に大切です。いざという時に慌てないよう

「患者さん用災害マニュアル」を参考に治療や生活に必要なものを日頃から用意しておきましょう。



西クリニックでは、自力で避難できない患者さんのために、イーバックチェア、エアストレッチャー、担架など避難器具を揃えており、スタッフ全員が操作できるよう訓練しています。

西クリニックは、いつ災害が起きても、患者さんが安心して避難できる体制を整えています。